

本別町国民健康保険病院中長期計画

取り組み状況の点検・評価(平成22年度報告)

「健康長寿のまちづくり会議」平成23年7月

II 本別町国民健康保険病院の目指す方向性

1. 計画策定期間(計画書5頁)

(1) 長期計画は、10年後の平成30年度の本別町国保病院が目指す方向性(目標)を次のとおりとする。

■平成30年度の本別町国民健康保険病院の目標

【基本理念】

『おもしろいもち、人にやさしくていねいな医療の実践により地域に愛される病院になろう』

【平成30年度本別町国民健康保険病院の目標】

『町民、診療圏域住民が、「いつでも」「どこでも」「安心して」暮らせる地域社会を医療面から支える病院』

- ・ 一般病床60床を維持されている。
- ・ 周辺地域の基幹病院となっている。

『十勝から小さくてもきらりと光る地域に根ざした医療を実践する病院』

- ・ 診療圏以外からの患者を受け入れる特徴ある医療機能・水準となっている。

『まち全体がホスピタル、予防から医療・介護までが関係したサービスを提供する病院』

- ・ 患者・家族・地域が一体となって在宅医療が推進され、国保病院がその中核となっている。

(2) 中期計画は、平成21年度を起点に平成25年度までの5年間とする。

■上記、本別町国保病院の目標を達成するための、平成25年度までの今後5年間の中期計画を策定する。

(3) 中期財政計画は、平成21年度を起点に平成23年度までの3年間とする。

■中期計画を基本に、平成23年度までの3年間の中期財政計画を策定する。

3. 医療需要の予測(計画書6頁)

患者数

【入院】

(単位:人)

	平成20年度 (計画)	平成20年度 (実績)	平成21年度 (計画)	平成21年度 (実績)	平成22年度 (計画)	平成22年度 (実績)
年延入院患者数	19,710	16,482	20,440	18,437	20,440	18,275
1日平均患者数	5.4	4.5	5.6	5.1	5.6	5.0

	平成 20 年度 (計画)	平成 20 年度 (実績)	平成 21 年度 (計画)	平成 21 年度 (実績)	平成 22 年度 (計画)	平成 22 年度 (実績)
年延外来患者数	68,320	65,249	68,320	66,518	69,540	63,529
1日平均患者数	280	267	280	275	285	261

4. 本別町国保病院の中期計画（施策の展開）（計画書6頁～）

(1) 診療体制

① 基礎診療科

- ・ **内科、外科**の2科を基礎診療科と位置づける。
- ・ 内科医師は複数名配置し、総合医、循環器系、消化器系、呼吸器系などの医師を確保する。消化器系は外科との連係を図りながら、予定手術等に対応できる体制とする。
⇒平成22年3月現在、内科医師4人、うち消化器系医師1名、消化器にも対応できる総合医（米国家庭医）を確保した。
⇒平成23年3月、内科医師1名の退職により、内科医師3名体制となり、金曜日午後外来を休診とした。（循環器1名、消化器1名、透析専門医1名）
- ・ 外科医師は複数名配置し、消化器系疾患の手術等に対応できるレベルを維持する。
⇒平成22年3月現在、外科医師2人確保し、予定手術に対応できるレベルを維持している。
⇒平成23年3月、外科医師1名の退職により、外科医師1名体制となり、月曜日及び木曜日の午後外来を休診とした。

② 1.5次医療として担うもの

- ・ **耳鼻咽喉科**の常勤体制を維持し、手術対応、入院による治療も積極的に行える体制とする。
⇒平成18年7月から常勤医師を確保し、外来のみではなく、手術・入院治療も実施。
- ・ **眼科**は、糖尿病など生活習慣病に起因する疾患を早期発見・治療することにより、生活習慣病の予防につながることを期待される。現在の週1回半日診療を増枠するなどの拡充を図り、町民のニーズに応えていく必要がある。
⇒毎週1回の半日枠に加え、平成22年4月から、当面月1回半日診療枠の拡充を図り、併せて個人寄付金を原資に自動視野計を導入し、緑内障などの早期発見体制の整備を図った。
- ・ **小児科**は、少子化時代になくはならない分野であるが、現状は小児科医師のなり手がいないこと、また、不採算部門であり常勤医師を確保することは難しいことから、現状の毎週1日の診療枠の拡大について検討する。具体的には、現在月2回の乳幼児健診以外の、残りの月2回を国保病院での午後半日診療枠の拡充を要請する。
⇒週1回の1日診療に加え、平成21年4月から、月2回午後半日外来診療の拡充を図った。
- ・ **皮膚科、整形外科**は、町民アンケートでもニーズが高い診療科であり、今後の病院運営状況も見据えながら検討を進める。
⇒整形外科は、平成21年9月から帯広協会病院の派遣を受け毎週1回の外来診療を開設、泌尿器科外来は、平成21年10月から帯広しばた腎泌尿器科クリニック院長による月2回の外来診療を開設した。

(2) 建設設備計画

【建設設備計画】

(単位：千円)

	医療機器等	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	合計
放射線室	画像サーバー (CR 含む)	24,000					24,000
	C T		80,000				80,000
	M R I				70,000		70,000
	D R (X T V)			35,000			35,000
	C R (画像読み取り装置)					33,000	33,000
	骨密度					4,500	4,500
	血管造影		120,000				120,000
検査室	HbA 1 C 測定装置	4,000					4,000
	全自動生化学分析装置	15,000					15,000
	半自動尿化学分析装置					2,000	2,000
	透析室 4 床増床	12,000					12,000
	オーダーリングシステム	60,000					60,000
	合計	115,000	200,000	35,000	70,000	39,500	459,500

実績【建設設備計画】

(単位：千円)

	医療機器等	平成 21 年度 (実績)	平成 22 年度 (実績)	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	備考
放射線室	画像サーバー (CR 含む)	39,690					
	C T						
	M R I						
	D R (X T V)						
	C R (画像読み取り装置)	画像 s に含む					
	骨密度						
検査室	※臨床検査システム	6,000					
	HbA 1 C 測定装置	2,625					
	全自動生化学分析装置	—	12,264				
	半自動尿化学分析装置						
その他	透析室 4 床増床	2 床増 8,453					
	オーダーリングシステム	55,125					
	※多機能心電計 2 台		3,880				
	※ジェットウォッシャー		4,673				
眼科	※無散瞳眼底カメラ	2,258					
	※散瞳眼底カメラ	5,523					
	※自動視野計	5,000					
合計		124,674	20,817				

※2,000 千円以上を記載

5. 事業運営の取り組み（計画書9頁）

(1) 収益増加への取り組み

① 入院基本料

⇒平成21年6月、15：1区分から1ランク上の、13：1区分を選択。

② 入院病床稼働率のアップ

⇒平成20年度実績 一般76.8%、療養45.9%で、前年度比、一般で6.9ポイント、療養で25ポイント減となった。

⇒平成21年度実績 一般84.2%で、前年度比、8.9ポイント改善。

⇒平成22年度実績 一般83.4%で、前年度比、0.8ポイントの減少。

③ 診療単価アップ

⇒平成20年度入院単価実績 23,813円（前年度24,810円）

平成20年度外来単価実績 7,475円（前年度 7,300円）

⇒平成21年度入院単価実績 24,692円（対前年 増879円）

平成21年度外来単価実績 7,825円（対前年 増350円）

⇒平成22年度入院単価実績 24,107円（対前年 減585円）

平成22年度外来単価実績 7,683円（対前年 減142円）

④ 平均在院日数の短縮

⇒平成20年度実績 26.6日、平成21年実績 22.9日（年度末）

⇒平成22年度実績 22.6日（年度末）

(2) 経営基盤の強化及び経営効率化への取り組み

電子化の取り組み

⇒平成21年12月にオーダーリングシステム導入

(3) 人材確保・育成への取り組み

① 医師確保対策

⇒平成21年3月に内科医師1名退職したものの、5月に1名、11月に1名確保し、医師7名体制となった。

⇒平成23年3月、外科医師1名及び内科医師1名の退職により、医師5名体制となった。

（現在、大学、北海道地域医療財団、インターネット募集サイトへの登録など、全力で医師確保に努めている。）

② 看護師確保対策

- ・ 町外から採用される看護師の住宅確保が必要である。看護師寮なども含め、設備の整った住宅環境の整備を検討する。

⇒平成20年度、21年度、22年度において現有職員住宅2戸のリニューアルで住宅環境の整備を図った。

- ・ 看護学校などの訪問、合同面接会への参加、定期的な募集広告の掲載などを進める。

⇒帯広高等看護学院への訪問、合同面接会への参加及び北海道看護協会、インターネット募集サイトへの登録などを行っている。

6. 中期財政収支計画（計画書11頁）

(1) 収益的収支及び資本的収支

（単位：千円）

		19年度 (決算)	20年度 (計画)	20年度 (決算)	21年度 (計画)	21年度 (決算)	22年度 (計画)	22年度 (決算)
収益的 収支	医業収益	1,100,845	1,191,947	1,046,931	1,238,245	1,161,529	1,247,397	1,129,000
	うち料金収入	928,506	999,369	880,108	1,042,690	975,749	1,051,842	928,619
	うち他会計負担金	128,177	139,023	121,400	140,000	135,310	140,000	147,918
	医業外収益	140,407	130,997	178,623	130,018	170,382	130,018	188,836
	うち他会計負担金	120,169	110,977	156,600	110,000	147,481	110,000	162,082
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	病院事業収益合計	1,241,252	1,322,944	1,225,554	1,368,263	1,331,911	1,377,415	1,317,836
	医業費用	1,291,380	1,350,903	1,315,998	1,315,916	1,357,902	1,324,146	1,376,365
	うち職員給与費	655,506	691,060	701,312	672,499	687,007	670,624	718,589
	うち材料費	199,583	212,677	189,059	212,619	210,227	214,358	203,736
	○うち減価償却費	126,027	127,482	127,372	128,260	127,941	136,626	127,475
	医業外費用	65,357	59,430	56,701	63,996	59,689	63,996	54,742
	うち支払利息	38,335	31,544	31,111	29,433	29,840	29,433	28,316
その他	101	114	693	114	616	114	654	
病院事業費用合計	1,356,838	1,410,447	1,373,392	1,380,026	1,418,207	1,388,256	1,431,761	
純損益	-115,586	-87,503	-147,838	-11,763	-86,296	-10,841	-113,925	
累積欠損金	1,133,065	1,220,568	1,280,903	1,232,331	1,367,199	1,243,172	1,481,124	

（単位：千円）

		19年度 (決算)	20年度 (計画)	20年度 (決算)	21年度 (計画)	21年度 (決算)	22年度 (計画)	22年度 (決算)
資本的 収支	企業債	41,200	9,500	9,500	38,100	37,300	98,600	15,000
	他会計負担金等	116,086	54,651	55,407	76,798	92,668	150,868	55,581
	国・道補助金等	2,625	1,622	1,622	50,000	50,000	2,625	4,817
	その他	1,033	1,321	564		7,351		804
	収入計	160,944	67,094	67,093	164,898	187,319	252,093	76,202
	建設改良費	50,858	19,439	19,438	115,000	133,359	200,000	26,150
	企業債償還金等	135,235	71,847	71,847	79,047	79,047	78,402	79,346
	その他	270	565	564		2,351		781
	支出計	186,363	91,851	91,849	194,047	214,757	278,402	106,277
差引不足額	25,419	24,757	24,756	29,149	27,438	26,309	30,075	

(2) 企業債残高

（単位：千円）

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
計画	1,550,246	1,487,700	1,437,452	1,419,550	1,253,391	1,183,333	1,101,944
実績	1,550,246	1,487,900	1,446,152	1,381,806			

7. 定員管理（計画書14頁）

⇒平成20年度、医師、看護師、技師等の増加により病院機能充実を図るため、職員定数68名を74名とした。

【正職員】

(1) 医師

⇒平成22年4月現在の医師標準定数は9,4063人で、現員数は、常勤医師7人、非常勤医師1,1354人、計8,1354人で充足率86.5%。

⇒平成23年4月現在の医師標準定数は8,9875人で、現員数は、常勤医師5人、非常勤医師1,6225人、計6,6225人で充足率73.7%。

(単位：人、%)

部門別	適正化計画（各年4月1日の職員数）					20年度比 純増減
	20年度	21年度 (計画)	22年4月 (実績)	22年度 (計画)	23年4月 (実績)	
医師	6	7	7	8	5	△1
看護室	38	40	37	41	40	2
医療技術	15	15	15	15	15	
給食	2	2	2	2	1	△1
事務	5	5	5	5	5	
合計	66	69	66	71	66	0

【非常勤職員】

(1) 給食調理部門の委託化

⇒平成21年度は、職員・準職員（調理員）の取り扱い、臨時・パート職員の移行、栄養士の取り扱い、給食材料費の取り扱いなど、検討すべき事項の洗い出しを進めている段階である。

⇒平成22年度は、昨年度委託した管内の自治体病院の視察を行い、評価や課題など検討事項の調査を行った。

(単位：人)

部門別	適正化計画（各年4月1日の職員数）					20年度 比増減
	20年度	21年度 (計画)	22年4月 (実績)	22年度 (計画)	23年4月 (実績)	
医師	(眼、小) 2	2	(内、眼、小 整、泌) 5	2	5	3
看護室	4	4	5	4	5	1
医療技術補助	3	3	4	3	3	
給食	12	12	11	6	12	
事務	6	6	6	6	5	△1
病棟看護補助	12	12	12	12	10	△2
外来看護補助	8	8	8	8	8	
合計	47	47	51	41	48	1

9. 中期経営主要指標（計画書15頁）

（単位：％）

	19年度	20年度 (計画)	20年度 (実績)	21年度 (計画)	21年度 (実績)	22年度 (計画)	22年度 (実績)
医業収支比率	85.2	87.0	79.6	92.1	85.5	92.3	82.0
経常収支比率	91.4	93.8	89.3	99.2	94.0	99.2	92.1
総収支比率	91.4	93.8	89.2	99.1	93.9	99.2	92.0
医業収益対職員給与比率	59.5	58.0	64.5	54.3	56.7	53.8	60.9
材料費対医業収益比率	17.0	17.8	16.8	17.2	16.9	17.2	16.8
（うち薬品対医業収益比率）	6.8	7.9	6.1	7.6	6.9	7.6	8.0
病床利用率（一般病床）	83.7	90.0	76.8	93.3	84.2	93.3	83.4

※ 医業収支比率＝ 医業収益/医業費用（本来の業務により発生した収益と、これに要した費用の割合。高いほど収益性は良い。）

※ 経常収支比率＝ 医業収益＋医業外収益/医業費用＋医業外費用（経常的な収支の比率。100％未満の場合は経常損失が発生している。）

※ 総収支比率＝ 総収益/総費用（100％を超えた場合は、損益計算上利益が生じ、下回ると欠損が生じる。）

※ 医業収益対職員給与費比率＝ 職員給与費/医業収益（医業収益に対する職員給与費の割合）

III 再編ネットワーク化(計画書16頁)

平成23年度末までに検討していく。

⇒「十勝管内自治体病院広域化・連携検討会議」幹事会において、部会（足寄町・本別町、大樹町・広尾町）の2部会を設置し、足寄町（福祉課長、病院事務長）、本別町（保健福祉課長、病院事務長）、十勝保健福祉事務所（保健福祉企画課長、企画主幹、医療業務係長）の3者で部会を開催し意見交換している。

IV 経営形態の見直し(計画書16頁)

平成23年度末までに検討していく。

⇒再編ネットワーク化と並行して検討していく必要から現在議論をしていない。

V 目標達成状況の評価等(計画書18頁)

(1) 点検・評価方法

① 既存の「健康長寿のまちづくり会議」（平成13年設置、条例委員、委員数24名）に、年1回（9月末）計画の取り組み状況の点検・評価を実施

⇒平成22年3月中間報告、平成23年3月、取り組み状況の報告。

⇒平成23年7月、取り組み状況の報告。

② 年度ごとの計画目標値と、実績値の比較により、評価時点での達成度を検証し、毎年度計画目標のローリングを図っていく。

⇒必要により見直しを図ることとした。

(2) 公表時期

平成20年度の計画策定時に公表する。目標達成状況は毎年度末の状況を毎年度報告する。

⇒計画策定時には、「健康長寿のまちづくり会議」に諮問いただき策定、計画書は、町議会議員、

健康長寿のまちづくり委員、国保運営委員会委員、病院運営モニター委員に配布している。

⇒平成21年度（平成23年3月）

⇒平成22年度（平成23年7月）予定

(3) 公表方法

本別町国保病院ホームページにより公表する。

⇒本別町国保病院ホームページ上に公表している。<http://www.honbetsu-kokuho-hp.jp/>